

京都府・兵庫県・鳥取県の海の文化遺産に係わる資料

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/36239

京都府・兵庫県・鳥取県の 海の文化遺産に係わる資料

佐々木達夫・田崎稔也・塩澤隆慈

京都府・兵庫県・鳥取県の海底文化財に関して、海岸踏査や聞き取り調査を中心に 2010 年・2011 年に実施したので報告する。調査には報告者の他に宮本眞晴、渡邊玲、佐々木花江などが関わった。本文中にお名前を掲げた多くの方々に現地でご助力いただいた。感謝。

京都府 4 市町

舞鶴市

竜宮浜海水浴場は砂利浜の部分と砂浜の部分がある 1km ほどの海岸である。小橋と別の湾に面して (昔は同じ湾か) 一続きではないが隣合わせである。蛇の目高台の磁器が 1 点採集された (Fig.5-2)。今はアンジャ島と陸続きだが、以前は離島だった。外海でのうねりが何日か後に到達するといい、護岸されていない部分は波が強く砂が存在しなかった。

小橋は前記の竜宮浜海水浴場と隣合わせの 200m ほどの砂浜である。海岸の状態については砂利がないこと以外竜宮浜と同じである。近現代の染付など 9 点を採集した (Fig.5-1)。

瀬崎。人頭大の岩が多い 1km ほどの海岸。生活投棄ゴミが多く、沖の一部に護岸があるが、波は高かった。近現代の陶磁器 3 点を採集した (Fig.5-3)。

神崎は由良川の河口の東側にある 2km ほどの砂浜である。京都府立丹後郷土資料館によると、由良川の下流部の流れのないところから、縄文土器が採集されたい。漂着物はそれほど多くなかったが河口付近から遺物が多く採集され、川からの流出品の可能性が高い。タタキ目を持つものが 1 点などを含む 10 点ほどの遺物が採集された (Fig.5-4)。

宮津市

京都府立丹後資料館に海揚げり品の保管展示はない。丹後由良は 2km ほどの砂浜で、由良川の河口西側に面する。沖に護岸があるところが大半であった。近現代の陶磁器 2 点を採集した (Fig.5-5)。

栗田は 2km ほどの砂で一部、沖にテトラポッドある。遺物が多く採集されたが、付近に民家が多数あ

り、投棄された可能性が高い。タタキ目を持つもの 1 点の他、近世～近現代の 80 点ほどの遺物を採集した (Fig.6-1)。

越浜は 500m ほどの砂浜。陸地よりも物が多く、近現代を中心に 9 点の遺物を採集 (Fig.6-2)。

田井は 500m ほどの砂利が多い海岸。付近に集落が存在する。近世?～近現代の遺物 47 点を採集した (Fig.6-3)。

日置は 1km 程の砂浜。ところどころ砂利が多い部分が存在した。小さな川が流れ混んでおり、新しい民家も多数存在する。近世～近現代の陶磁器 18 点を採集した (Fig.6-4)。

長江は 200m ほどの砂浜。民家が多数あり、漂着物が多かったが、採集された遺物は小片が多かった。蛇の目高台の染付 1 点を含む 19 点の陶磁器類を採集した (Fig.7-1)。

大島は 1km ほどの砂利浜で漁港に隣接する。沖に護岸されている部分があるが、採集された遺物が多い。しかし、付近に民家が多数存在することから投棄である可能性もある。蛇の目高台の染付が少なくとも 4 点、近世～近現代の合計 105 点の遺物を採集した (Fig.7-2)。

伊根町

日出は入江に位置する 150m ほどの一部コンクリートの砂浜である。小規模な河川があり、民家も多数存在する。近代の染付碗が 1 点採集されたが摩耗は少なく集落近くでの採集のため投棄の可能性が高い。近現代の陶磁器合計 3 点を採集した (Fig.7-3)。

泊は 200m ほどの砂浜で、波が高く、付近に河川がある。近現代の陶磁器 13 点を採集した (Fig.7-4)。

本庄浜は 200m 程の砂浜で、河川が流れこむ。沖に護岸がなされている。近現代の陶磁器 8 点を採集した (Fig.7-5)。

京丹後市

経ヶ岬。経ヶ岬沖から東側の越前岬にかけては海上交通の難所である。経ヶ岬は断崖絶壁で海岸へ降りられない。平成 2 年 11 月 6 日、若狭湾沖で越前町大樟の稲川正 (言宣) さんの越前蟹漁の底引き網にかかって備前徳利 1 点が引き揚げられた。越前岬西 44km、丹後半島経ヶ岬北東 31km の海底 270 m、浦島礁東側である (田中照久, 1991 「若狭湾沖発見の備前細口徳利」『福井考古学会会報』33:4-5.)。田中氏の報告

によると、備前徳利は高さ 22.6cm、口径 3.2cm、胴径 17.6cm、底径 10.3cm。使用痕跡はなく完形品である。全面に茶褐色の鉄釉がかかり、口から肩にかけて自然釉が胡麻状にかかる。底部は削り調整で糸切り痕が見られず、底部端に上口の刻印がある。年代は備前大窯前期後半・江戸時代前期後葉である (Fig.4)。

袖志は人頭大の岩からなる部分と、砂浜の部分からなる 800m ほどの海岸。西側は護岸されており、民家も多数存在する。近世の染付 1 点を含む 9 点の染付を採集した (Fig.8-1)。

久僧は 500m 程の砂浜で漂着物が多く見受けられた。採集された遺物は小片が多い。10 点の陶磁器類を採集した (Fig.8-2)。

竹野浜は 300m ほどの砂浜で付近に民家が多数存在する。漂着物は少なく、採集された遺物は小片が多い。近現代の陶磁器 4 点を採集した (Fig.8-3)。

砂方は 100m ほどの砂浜であうる。採集された遺物は少ない。近世～近現代の染付 10 点を採集した (Fig.8-4)。

琴引浜は 2km ほどの砂浜で鳴き砂が有名である。現地の高校教諭であった安松氏が漂着物を集めて展示している。展示施設は 2 か所ある。琴引浜の漂着物展を琴引浜の鳴り砂を守る会として展示する家、自然を含めた琴引浜の採集品を展示する琴引浜ネイチャークラブハウスがある。いずれも安松氏が集めた漂着物を展示している個人宅であり、最近では通常は閉鎖している。陶磁器の小片が少量展示されていた。江戸時代にさかのぼる陶磁器片はない (Fig.8-7,8)。

京丹後市立の琴引浜鳴砂文化館長・松尾秀行さんにご助力いただいた。琴引浜に打ちあげられた漂着物を展示している。陶磁器小片やガラスくずでアートを作る体験講習に利用している。

平成 23 年 5 月、琴引浜海岸を歩くと、いくつかの陶磁器片が採集された (Fig.8-6,7)。

八丁浜は 1.5km ほどで弧状の砂浜で、採集された遺物はなかった。久美浜は長く広い砂浜で、漂着物は少しあるが陶磁器片はない。

兵庫県 3 市町

豊岡市

気比ノ浜海岸は湾内の砂浜で、陶磁器はほとんどない。わずかに最近の陶磁器小片が 2 片のみであった

(Fig.10-1)。

豊岡市竹野海岸周辺、北緯 35 度 39 分、東経 134 度 45 分、竹野海岸は北前船の寄港地で、積荷が落ちているという話がある。東側は海水浴場となる竹野浜の砂浜でほとんど陶磁器片はない。西側の竹野海岸は小石混じり海岸で、大正昭和の陶磁器片が碎片になって少し落ちている (Fig.10-2)。

切浜は湾奥の海岸で、東側は砂浜で木や海藻が多く打ち上げられているが、陶磁器片は落ちていない。西側は小石が堆積する海岸で家もないが、幕末明治の染付皿片などが採集された (Fig.10-3)。

豊岡市浜須井は竹野海岸の西側にあり、漁港がある湾奥の砂浜である。大正昭和の陶磁器片が小片となって少し落ちている (Fig.10-4)。

豊岡市立博物館。豊岡市竹野にある北前館内の北前船資料室には船模型等が展示されている。

香美町

美方郡香美町佐津海岸（北緯 35 度 39 分、東経 134 度 41 分）で少し陶磁器の破片がある (Fig.11-1)。

香美町立博物館・科学館海の文化館では佐津海岸で採集した数片の陶磁器片を展示している。江戸時代の有田焼染付皿片がある。海の文化館で、四爪鉄錨、長さ 270cm が展示されている (Fig.9)。海揚がり品ではない。

香住浜はきれいな砂浜海岸で波打ち際に小石が広がり、陶磁器片は落ちていない。

佐津海岸は湾奥のきれいな砂浜海岸で、東側ほど砂粒が大きくなり、小石も広がる。小石のなかに大正昭和時代の磨滅した小片が少し混じる。今子浦は小さな湾の奥にある砂浜海岸で、陶磁器片は最近のものが僅かにあるだけである (Fig.11-2)。

鎧は狭い湾奥の漁港で、コンクリートで固められ砂浜はない。余部海岸は岩石海岸で陶磁器片などはない。

柴山は湾奥の海岸で、砂浜部分は僅かに残り、多くは漁港や海岸に沿う道路となる。新しい陶磁器片が少しおちている (Fig.11-3)。

安来浜は湾奥の砂浜で昭和の陶磁器片が少しある。

新温泉町

田井浜は湾奥の小石海岸で、陶磁器などの破片はない。浜坂海岸はきれいな砂浜で陶磁器片は大正昭和の小片が少しある (Fig.11-4)。

諸寄は大きな漁港で、砂浜部分も少し残る。陶磁器片は大正昭和の小片が僅かにある (Fig.11-6)。コンクリートの漁港の周辺の岩には、もやい跡が残る。すでに大部分が漁港整備で破壊され、残るめぐりは少ないが、棒状の跡は多く見られる。港の外れにある造船所の近くにはまだ、めぐりも残る (Fig.9)。造船所の尾崎さんに案内していただいた。

浜坂は漁港がコンクリートで整備され、それ以外は砂浜海岸がある。陶磁器片はおちていない。

居組は湾奥の漁港でコンクリートで固められている。西海岸は砂浜が残り、地元の方に聞くと、夏はゴミ拾いをするので海岸はきれい。冬に海が荒れると多くの漂着物が海岸に打ち寄せられるという。

浜坂町基幹集落センターに北前船関連の資料があり、安本恭二さん（元郵便局長）が研究しており、説明を受けた。古文書も保管している。安本恭二『但馬・廻船史話』平成 14 年、発行者・安本。香住・海の文化館に海揚げりではないが四爪鉄錨が展示されている。竹野、猫崎半島「アド」のめぐり、角形に穴が穿たれているのが特徴である。

和船係留穴・杭跡は浜坂町の諸寄漁港や居組漁港に残る。岩場の突出した部分の頭部「もやい岩」、岩場の突出した部分に穴をあけた「めぐり」、岩場に方形や丸形の穴を穿ち石杭や棒杭をはめ込んだ「棒杭」跡がある。安本恭二「諸寄漁港にのこる船繋ぎ施設について」浜坂町文化財調査報告書 7, 浜坂町教育委員会、平成 14 年 3 月。

鳥取県 9 市町村

石見町

東浜は長い砂浜で、陶磁器片は僅かに新しいものが数片のみ落ちていた (Fig.12-3)。牧谷・浦富は長い砂浜で、きれいな海岸であり、陶磁器片は数片のみ落ちていた (Fig.12-4)。

鳥取市

鳥取県立博物館保管の弥生時代後期中葉の土器壺。実測図は常松幹雄 1994「本州島域における北部九州の壺型土器」『福岡考古』16 号、39-46。島根県隠岐郡島前三渡灯台北北西 1 8 マイル（海中 2 6 0 m）で 1983 年 11 月にカニ漁中に網にかかって引き揚げられた。北九州系の土器で福岡県下大隈並行（青木皿古）、ほぼ完形品 (Fig.12-5)。

鳥取砂丘には陶磁器片が落ちていない。大谷海岸は湾奥の砂浜で、漂着ゴミや海藻が落ちているが、陶磁器片はない。岩戸海岸は漂着ゴミや海藻が落ちているが、陶磁器片はない。

鳥取市歴史博物館に戦国時代に海から引き揚げられたという伝承のある釣鐘が保管されている。一般に公開されていない。

米子市。

米子市埋蔵文化財調査室、佐伯純也氏から以下のような情報を得た。「佐々木謙さんの資料のうち、文献資料が米子市立山陰歴史館に移管された。考古学資料は米子市埋蔵文化財センターに移管された。搬入時に海上がりの資料を見たときは、貝殻や生痕化石がほとんどで、縄文土器や弥生土器が少しあった程度だったと思う。中近世の陶磁器資料は全くなかった。米子市内の遺跡では、中海の奥部に位置する目久美遺跡や陰田遺跡群の調査で、縄文・弥生時代の資料が充実している。中世以降は米子城下町遺跡の資料以外にまとまったものが少ない。」

米子市立山陰歴史館に海揚げり品の展示はない。展示品の黒褐釉播鉢は、福井県で斉藤洋一さんが海底から引き揚げた播鉢と同じ種類で、背の高い器形である。

境港市

美保湾の弓ヶ浜海岸は長い砂浜で、2010 年踏査では陶磁器などを採集できなかった。海とくらしの史料館に海揚げり品の展示保管はなく、魚のはく製、漁具、民具などが展示されている。

境港市北灘遺跡、北緯 35 度 32 分、東経 133 度 12 分、昭和 26 年の浚渫工事の際、発見された海底遺跡で、現在は木材工場の敷地として埋め立てられているが、かつての護岸から約 40 m ほど沖、水深 1 m あまりの海底から縄文時代後期の土器が出土している。佐々木古代文化研究室が保管（『境港市史』、『鳥取県埋蔵文化財シリーズ 3 旧石器・縄文時代の鳥取県』）していたが、佐々木謙（1912～2001）没後、米子市埋蔵文化財センターに考古学資料が移管された。佐伯純也氏によると、鳥取地震で佐々木古代文化研究室が被害を受け、資料が混じり、400 箱ほどの資料の分類整理中であり、いまは海揚げり土器を見ることができない。

境港市西灘遺跡、北緯 35 度 32 分、東経 133 度 12 分、昭和 25 年に中海埋立工事の一環として、サ

ンドポンプ船で西灘海底の砂をすくい上げたところ、多くの縄文土器などが混じっていた。外江海岸沖合約 100 m、水深 1 m 前後の海英にあったと考えられているが、現在は埋立られている。縄文土器は前期から晩期のもの、他には石鏃、貝殻、獣骨が見つかった。米子市埋蔵文化財センターに保管されているが、整理中である。

村上勇氏から 2010 年にいただいた情報は貴重である。「25, 6 年前の話になるが、安来市の足立美術館に勤めていた学芸員大森隆雄氏が、境港に入港した漁船が須恵器のような壺を引き揚げたと見せてくれた。朝鮮半島の陶質土器だと思ふ。写真は撮ったが、すぐには出てこない。実測図をとったかもしれない。これと相前後してさらに 1 点揚げたことも聞いた。写真も見たので間違いはないが、次々に話が入りそうで密輸入品の関係ではないかと心配し、私の所に話を持ってくるなといったので、そのままになった。大森氏は当時、足立美術館を辞めて、日新海運といったか、境港の税関で輸出入の手続きに従事していた。」

湯梨浜町。湯梨浜町泊歴史民俗資料館。海揚げり品展示はない。北栄町。北栄町北条歴史民俗資料館には海揚げり品展示はない。琴浦町。琴浦町民俗資料館には海揚げり品展示はない。大山町。鳥取県立大山自然歴史館には海揚げり品展示はない。日吉津村。日吉津村民俗資料館には海揚げり品展示はない。

京都府・兵庫県・鳥取県の海底文化財

丹後半島沖で海底から陶磁器が比較的多く引揚げられているが、考古学的な引揚げの報告は少ない。

今回の調査によって、アンケート調査だけでは得られなかった「めぐり」跡の情報や多くの方々から得た地域内情報、砂浜や断崖絶壁の海岸の様子などをうかがい知ることができた。この地域の中でも特に鳥取県の海岸には陶磁器類などの漂着物が著しく少なかったが、鳥取県史（『鳥取県史』4 近世 社会経済，昭和 56 年 3 月発行，鳥取県）の 563 頁に「因幡・伯耆（鳥取県）の海岸線は長い割にその出入りが少ないため、航行する船が荒天の際にいち早く避難する港がほとんどない。そのため、船の遭難例は多かったと推定されるが、史料的に明らかなものはそれほど多くない。」とあり、このような事情も海岸の状況に関係しているのかもしれない。この地域は今後の継続的な調査が必要であり、地元の方々のご活躍に期待するところが大きい。

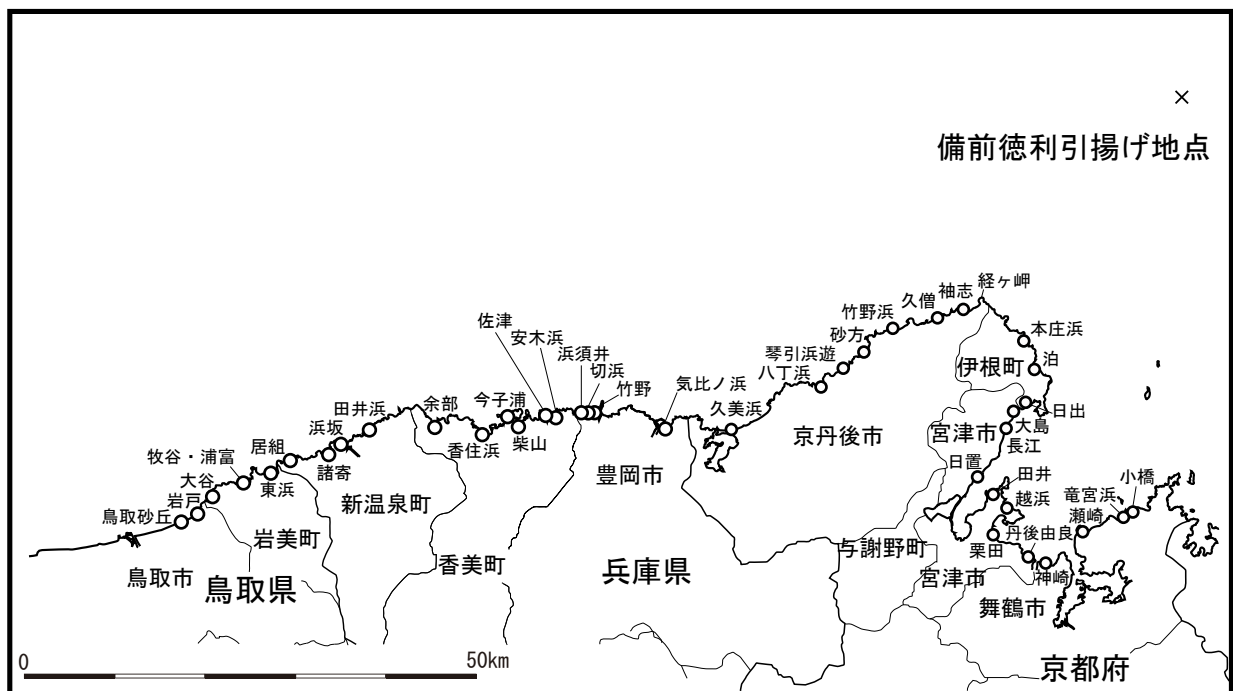


Fig.1 海岸踏査地点等



舞鶴市小橋



舞鶴市竜宮浜



舞鶴市瀬崎



舞鶴市神崎



宮津市丹後由良



宮津市栗田



宮津市越浜



宮津市田井



宮津市日置



宮津市長江



宮津市大島



伊根町日出



伊根町泊



伊根町本庄浜



京丹後市袖志



京丹後市久僧



京丹後市竹野浜



京丹後市砂方

Fig.2 京都府海岸踏査地



京丹後市琴引浜遊
Fig.3 京都府海岸踏査地

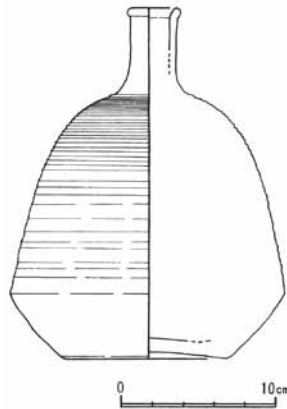


fig.4 若狭湾沖出土備前細口德利 『福井考古学会報』第33号より



1. 舞鶴市小橋



3. 舞鶴市瀬崎



2. 舞鶴市竜宮浜



4a. 舞鶴市神崎 . 内面



4b. 舞鶴市神崎 . 外面



5a. 宮津市丹後由良 . 内面



5b. 宮津市丹後由良 . 外面

Fig.3 京都府 . 表面採集品



1a. 宮津市栗田 . 内面



1b. 宮津市栗田 . 外面



2a. 宮津市越浜 . 内面



2b. 宮津市越浜 . 外面



3a. 宮津市田井 . 内面



3b. 宮津市田井 . 外面



4a. 宮津市日置 . 内面



4b. 宮津市日置 . 外面

Fig.4 京都府 . 表面採集品



1a. 宮津市長江 . 内面



1b. 宮津市長江 . 外面



2a. 宮津市大島 . 内面



2b. 宮津市大島 . 外面



3a. 伊根町日出



3b. 伊根町日出



4. 伊根町泊



5. 伊根町本庄浜

Fig.5 京都府 . 表面採集品



1. 京丹後市袖志



2. 京丹後市久僧



3. 京丹後市竹野浜



4. 京丹後市砂方



5. 京丹後市琴引浜遊



6. 京丹後市琴引浜



7. 京丹後市琴引浜



7a. 京丹後市琴引浜ネイチャークラブハウス展示物 . 内面



7b. 京丹後市琴引浜ネイチャークラブハウス展示物 . 外面



8a. 京丹後市琴引浜ネイチャークラブハウス展示物 . 内面



8b. 京丹後市琴引浜ネイチャークラブハウス展示物 . 外面

Fig.6 京都府 . 表面採集品



豊岡市気比ノ浜



豊岡市竹野



豊岡市切浜



豊岡市浜須井



美方郡香住町安木浜



美方郡香住町佐津



美方郡香住町柴山



美方郡新温泉町田井浜



美方郡新温泉町浜坂



美方郡新温泉町諸寄



美方郡新温泉町諸寄に残るめぐり

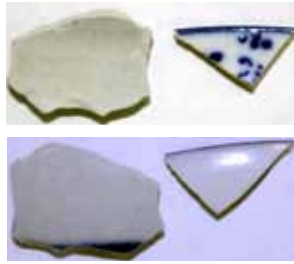


美方郡新温泉町諸寄に残るめぐり

Fig.7 兵庫県海岸踏査地



海の文化館展示 4 爪鉄錨



1. 豊岡市気比ノ浜



2a. 豊岡市竹野 . 内面



2b. 豊岡市竹野 . 外面



3a. 豊岡市切浜 . 内面



3a. 豊岡市切浜 . 外面



4a. 豊岡市浜須井 . 内面



4b. 豊岡市浜須井 . 外面



5a. 美方郡香住町安木浜 . 内面



5b. 美方郡香住町安木浜 . 外面

Fig.8 兵庫県 . 表面採集品



1a. 美方郡香住町佐津 . 内面



1b. 美方郡香住町佐津 . 外面



2. 美方郡香住町今子浦



3a. 美方郡香住町柴山



3b. 美方郡香住町柴山



4. 美方郡新温泉町浜坂



5. 美方郡新温泉町田井浜



6a. 美方郡新温泉町諸寄 . 内面



6b. 美方郡新温泉町諸寄 . 外面

Fig.9 兵庫県 . 表面採集品



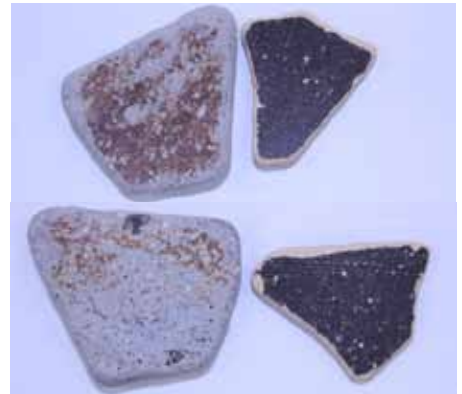
1. 岩美郡岩美町東浜



2. 岩美郡岩美町牧谷・浦富



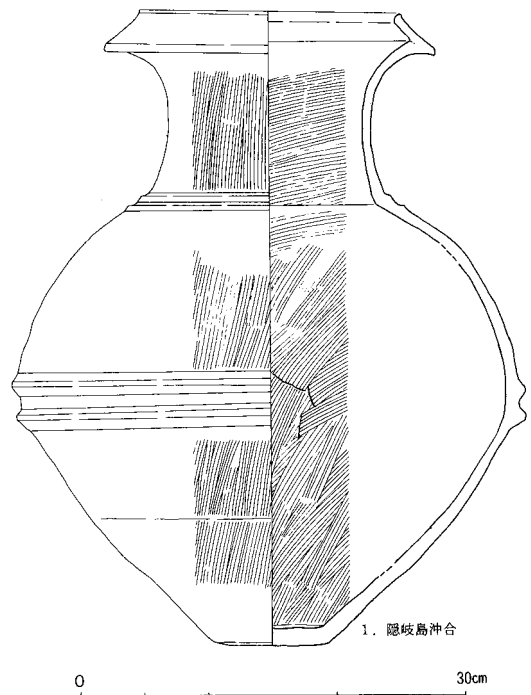
3. 岩美郡岩美町東浜



4. 岩美郡岩美町牧谷・浦富



5. 隠岐島沖揚げりの弥生土器（鳥取県立博物館蔵）
Fig.10 鳥取県・水中文化遺産関係品



実測図は常松幹雄 1994「本州島域における北壺型土器」『福岡考古』16号, 39-46